

令和6年度

三好市立芝生小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的に学びに向かい、伝え合い高め合う授業の実践
- 自分の考えを持ち、表現できる授業の実践

学力向上検討委員会構成

| | |
|---------|---|
| 学力向上推進員 | 委員 |
| 大岩教泰 | 校長: 武田真二郎 教頭: 大野修司 生徒指導主任: 谷脇洋平 研修主任: 平尾美和 道徳教育推進教師: 高崎まほら 体育主任: 濱口久弥 特別支援教育コーディネーター: 永山睦子 |

校長

武田 真二郎

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|--|---|---------|----------|-------------|
| ○課題にまじめに取り組む児童が多い。 ●基礎的・基本的な知識・技能の習得や定着が不十分である。 | ・該当学年の読み・書き・計算の知識・技能の8割程度を習得することができる。 ・主述の対応を理解して、文章を正確に読み取ることができる。 | ・週に1回程度、漢字や計算の小テストを行う。 ・1授業の中に、話す、聞く、書く活動の場を設定する。 ・各学年で読書の目標冊数を設定し、学期末には「多読賞」を発表するなど、読書活動を推進する。 | | | |

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|--|--|---------|----------|-------------|
| ○自分の意見を素直に発表する児童が多い。 ●友達と自分の意見を比べ、考えを深めることに課題がある。 | ・話し合い活動等を通して、課題解決する方法を考えることができる。 ・友達の意見を正しく理解し、自分の意見と同じところと違うところを考えることができる。 | ・ICTを活用して友達の意見に触れる機会を増やす。 ・友だちの発表を聞いたらず必ずハンドサインを出させる。 ・月に1回、「自主学習の日」を設定し、自ら課題解決に取り組む、自分の考えや知識を深めさせる。 | | | |

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|---|---|---|---------|----------|-------------|
| ○自分の好きな分野に対しては興味・関心が高く、意欲的に取り組むことができる。 ●苦手な分野に対して、消極的になるところに課題がある。 | ・既習事項を生かしながら、粘り強く課題に取り組むことができる。 ・自ら手を挙げて、思いや考えを発表することができる。 | ・課題を解くのに手掛かりとなる既習事項を明示する。 ・自分の思いや考えを出しやすいように雛形やキーワードを用意する。 | | | |

令和6年度 学力向上ロードマップ

